

令和6年度進行管理・評価シート
小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)(令和3年3月29日認定)
(最終変更 令和7年3月13日)

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の進捗管理及び推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 清閑亭活用事業	3
2 皆春荘整備活用事業	4
3 旧松本剛吉別邸整備活用事業	5
4 小田原文学館(本館・別館)整備活用事業	6
5 歴史的風致形成建造物整備活用事業	7
6 史跡小田原城跡保存活用・整備事業	8
7 指定文化財等建造物保存・公開事業	9
8 街かど博物館活用事業	10
9 小田原宿なりわい交流館整備活用事業	11
10 景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業	12
11 重点区域における街なみ環境の向上	13
12 文化財の総合的把握・保存活用事業	14
13 伝統行事・民俗芸能等保存継承事業	15
14 観光イベント支援事業	16
15 回遊性向上推進事業	17
16 伝統的工芸品産業産地組合助成・地場産業PR支援事業	18
17 職人育成等推進事業	19
18 旧保健福祉事務所跡地活用事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査及び指定、防災	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 小田原城址公園の魅力向上	23
2 歴史まちづくりカードの配布	24
3 歴史まちづくり出前講座の実施	25
4 歴史まちづくりに係る民間の取組	26
5 歴史的建造物の入館者数等	27

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
計画の進捗管理及び推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容
 本計画の推進にあたっては、市内部の横断的な体制を整えるとともに、歴史まちづくり法第11条に基づく、外部有識者らで構成する小田原市歴史まちづくり協議会を設置することで、計画的に進捗管理し、推進を図る。市内部の体制としては、文化部、経済部、都市部の主要課を事務局とし、小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議において、市内部における本計画の進捗管理及び事業推進に係る連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・4月に令和6年度第1回小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議、5月に令和6年度第1回小田原市歴史まちづくり協議会、9月に令和6年度第2回小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議、10月に令和6年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会を開催した。
 ・令和6年7月1日の小田原市の機構改革により、小田原市歴史まちづくり協議会及び小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議の事務局が都市部まちづくり交通課から都市部都市政策課へ変更となった。
 ・本計画に位置付けている各事業については、円滑に進めるため、適宜、事業担当課と個別に協議調整を行っている。

【定量的評価】

小田原市歴史まちづくり協議会の開催回数 R3:2回 R4:2回 R5:2回 R6:2回
 小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議の開催回数 R3:2回 R4:2回 R5:2回 R6:2回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○小田原市歴史まちづくり協議会

第1回協議会(開催日:令和6年5月13日)

1 協議事項

- (1) 令和5年度進捗管理・評価シートについて
- (2) 歴史的風致形成建造物の指定について

2 報告事項

- (1) 歴史的建造物の利活用について
- (2) 歴史まちづくりカードの追加発行について
- (3) 歴史的風致維持向上計画中間評価に係る効果測定調査について

第2回協議会(開催日:令和6年10月10日～令和6年11月22日)

※書面会議

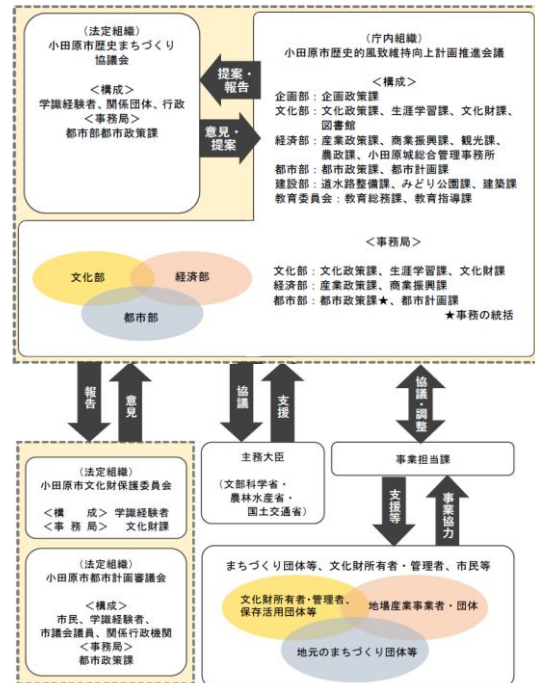
1 協議事項

- (1) 小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の計画変更について

2 報告事項

- (1) 令和6年度進捗管理・評価シートについて
- (2) 中間評価に係る外部有識者について
- (3) 中間評価に係る効果測定調査について

○小田原市歴史的風致維持向上計画の実施体制図



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
景観計画の活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本計画の重点区域には、本市が先進的に取り組んできた建築物や屋外広告物等に関する景観施策に基づいた景観計画重点区域が含まれており、今後本計画の推進と連動しながら、景観計画重点区域等の拡充を図ることにより、効果的に歴史的風致の維持向上を図ることが可能である。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成17年度に策定した「小田原市景観計画」に基づき、市内における良好な景観形成のための規制誘導を行っている。 【景観届出件数】(拠点型重点区域のみ) R3:18件 R4:14件 R5:22件 R6:21件 ・景観上重要と思われる案件について、自然、歴史的建造物、街なみ、伝統や文化との調和を踏まえ、地域ごとの特性に応じた景観を形成するため、景観評価員に意見を求めている。 【景観評価件数】(歴まち計画重点区域のみ) R3:2件 R4:0件 R5:2件 R6:2件 ・景観計画重点区域内等の民有建築物については、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等における屋根及び外壁に係る設計費及び工事費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施している。 【修景実施件数】 R3:1件 R4:2件 R5:0件 R6:2件 ・平成22年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物における規制誘導を行っている。 【屋外広告物許可申請件数】(拠点型重点区域のみ) R3:45件 R4:26件 R5:51件 R6:58件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○重点区域内における良好な景観形成の事例(景観形成修景費補助金制度によるもの) 「10.景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業(p.12参照)」 ○景観評価員への意見聴取状況			
			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
清閑亭活用事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	清閑亭を、歴史・文化と自然に恵まれた小田原の豊かな暮らしを体感できる施設として、民間事業者等と連携し、魅力的な活用を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・令和3年12月24日に、(株)JSフードシステムと相互に協力し、提案内容を確認かつ円滑に事業化することを目的とする「清閑亭の利活用に向けた詳細協議に関する協定書」を締結し、行ってきた詳細協議が完了した。 ・令和4年度以降の清閑亭の利活用について、「食」を通じて「小田原ならではの文化」を発信するとともに、観光の回遊拠点の一つとして地域連携を図り、持続可能な形で建物を維持保全していくことを目的とした「小田原別邸料理 清閑亭」とする提案を採用した。 ・令和6年3月7日に「定期建物等賃貸借契約」を締結し、プレオープンによる営業を踏まえて同年3月25日から飲食店「小田原別邸料理 清閑亭」として一般を対象にして開業した。 ・令和6年度入館者数 6,989人 ・庭園及び主屋2階の一般公開に加え、ギャラリースペースや体験ワークショップの会場としての貸し出しも行っている。 【イベント等開催実績】 ・黒田長成生誕祭(令和6年6月7日) ・小田原ちようちゃん作り(令和6年7月20日、9月28日) ・現代の金継ぎ グルー継ぎ体験(令和6年8月24日、10月26日、11月23日) ・季節の飾りもの作り(正月飾り:令和6年12月24日、ミモザ飾り:令和7年2月22日、桜のトピアリー:令和7年3月29日) ・神田山緑(講師)独演会in清閑亭(毎月第一金曜日) ※計7回開催 ・季節の振る舞い(端午の節句、七夕の節句、元旦、人日の節句、上巳の節句)など		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○店舗写真		
 主屋外観(夜間)  主屋内観(蔵カフェ)  主屋内観(客室:幸)  ワークショップ開催		

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度																														
項目		現在の状況																														
皆春荘整備活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																														
事業期間	令和3年度～令和12年度																															
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業																															
計画に記載している内容	皆春荘を、小田原の別邸文化を伝える施設として保全するとともに、板橋散策のレストスペースとして、魅力向上のための整備を進める。また、市民や観光客が別邸文化に触れることのできる環境を整えるため、民間団体等と連携した利活用を推進する。																															
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																
・主屋一部及び庭園の一般公開を実施している(令和3年10月～令和6年10月、令和7年3月～)。 ・将来的・長期的な利活用の可能性を探るにあたり、多彩なノウハウを生かして施設の活用促進を行うため、当該業務を民間事業者(株式会社トープラ)に委託し、各種イベントを開催している(令和4年10月～)。 ・令和3年度に実施した調査の結果に基づき、山縣有朋の自然観と作庭観を現代に伝える庭園の復元をテーマに令和6年4月から令和7年2月まで庭園の工事を実施した。 ・山縣有朋が庭園を作庭したホテル椿山荘東京を管理運営する藤田観光(株)と、山縣有朋ゆかりの庭園の連携事業を推進するため包括連携協定を締結した(令和6年2月1日)。 【定量的評価】 入館者数 R3:1,877人 R4:3,308人 R5:7,414人 R6:2,333人 イベント数 R3: 3回 R4: 7回 R5: 26回 R6: 10回 ※令和6年度は庭園整備工事のため、入館者数が減少。(10月まで日曜のみ開館、以降3月4日まで休館)																																
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																															
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																																
状況を示す写真や資料等																																
○令和6年度イベント実績 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>7/21(日)</td> <td>瞑想的な満月の蒸留会 ～音と香りの満月YOGA～</td> <td>講座・教室</td> </tr> <tr> <td>8/18(日)</td> <td>日本画家 田代勉さん 出版記念お話し会</td> <td>講座・教室</td> </tr> <tr> <td>8/25(日)</td> <td>おばあちゃんの戦争体験を聞くお話し会</td> <td>講座・教室</td> </tr> <tr> <td>9/22(日)</td> <td>皆春荘の小さなお茶会</td> <td>飲食イベント</td> </tr> <tr> <td>10/6(日)</td> <td>わをんコンサート 「秋薫る。」</td> <td>コンサート</td> </tr> <tr> <td>11/17(日)</td> <td>伝統建築工匠の技 皆春荘表門補修ワークショップ</td> <td>講座・教室</td> </tr> <tr> <td>3/1(土)</td> <td>庭園改修工事竣工内覧会</td> <td>施設見学・ガイド</td> </tr> <tr> <td>3/1(土)・3/2(日)</td> <td>庭園改修工事竣工記念講演&庭園見学 ～山縣三名園を旅する～</td> <td>施設見学・ガイド</td> </tr> <tr> <td>3/15(土)</td> <td>庭園見学と呈茶体験</td> <td>施設見学・ガイド</td> </tr> <tr> <td>3/20(木) ～3/30(日)</td> <td>第27回 小田原もあ展</td> <td>展示</td> </tr> </tbody> </table> ○受託者が作成したホームページ、SNS https://kaishunsou.com/ https://www.instagram.com/kaishunsou/ ○表門修復に関する紹介のホームページ [皆春荘表門修復・補修探訪記] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/lifelong/culture/historical_structure/p38621.html ○竣工後の庭園  ・バリアフリールートの敷設 ・水景、借景の復元 ○竣工後の表門  ・関東では珍しいこけら葺きの表門の修復			7/21(日)	瞑想的な満月の蒸留会 ～音と香りの満月YOGA～	講座・教室	8/18(日)	日本画家 田代勉さん 出版記念お話し会	講座・教室	8/25(日)	おばあちゃんの戦争体験を聞くお話し会	講座・教室	9/22(日)	皆春荘の小さなお茶会	飲食イベント	10/6(日)	わをんコンサート 「秋薫る。」	コンサート	11/17(日)	伝統建築工匠の技 皆春荘表門補修ワークショップ	講座・教室	3/1(土)	庭園改修工事竣工内覧会	施設見学・ガイド	3/1(土)・3/2(日)	庭園改修工事竣工記念講演&庭園見学 ～山縣三名園を旅する～	施設見学・ガイド	3/15(土)	庭園見学と呈茶体験	施設見学・ガイド	3/20(木) ～3/30(日)	第27回 小田原もあ展	展示
7/21(日)	瞑想的な満月の蒸留会 ～音と香りの満月YOGA～	講座・教室																														
8/18(日)	日本画家 田代勉さん 出版記念お話し会	講座・教室																														
8/25(日)	おばあちゃんの戦争体験を聞くお話し会	講座・教室																														
9/22(日)	皆春荘の小さなお茶会	飲食イベント																														
10/6(日)	わをんコンサート 「秋薫る。」	コンサート																														
11/17(日)	伝統建築工匠の技 皆春荘表門補修ワークショップ	講座・教室																														
3/1(土)	庭園改修工事竣工内覧会	施設見学・ガイド																														
3/1(土)・3/2(日)	庭園改修工事竣工記念講演&庭園見学 ～山縣三名園を旅する～	施設見学・ガイド																														
3/15(土)	庭園見学と呈茶体験	施設見学・ガイド																														
3/20(木) ～3/30(日)	第27回 小田原もあ展	展示																														

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
旧松本剛吉別邸整備活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 旧松本剛吉別邸を、小田原の別邸文化を伝える施設として保全するとともに、観光交流拠点として、魅力向上のための整備を進める。また、現存する茶室等を活用し、市民や観光客が別邸文化に触れることのできる環境を整えるため、民間団体等と連携した利活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・主屋一部、茶室及び庭園の一般公開を実施している(令和3年10月～)。
 ・将来的・長期的な利活用の可能性を探るにあたり、多彩なノウハウを生かして施設の活用促進を行うため、当該業務を民間事業者(株式会社トープラ)に委託し、各種イベントを開催している(令和4年10月～)。
 ・令和3年度に実施した調査の結果に基づき、明治時代から現代まで続く日本庭園の再構築をテーマに令和6年4月から令和7年2月まで庭園の工事を実施した。

【定量的評価】

入館者数 R3:2,022人 R4:7,337人 R5:10,321人 R6:3,808人

イベント数 R3: 10回 R4: 19回 R5: 31回 R6: 10回

※令和6年度は庭園整備工事のため、入館者数が減少。(工事期間中は日曜日のみ開館)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○令和6年度イベント実績

4/28(日) ～3/23(日)	論語の素読会 (期間中全12回)	講座・教室
9/22(日)	藍染ワークショップ	講座・教室
11/30(土)	秋の観覧会	施設見学・ガイド
2/21(金) ～3/2(日)	おだわら雛の道中	展示
2/22(土)	街かど博物館をめぐるまち歩き	施設見学・ガイド
2/23(日)	雛の道中まち歩き	飲食イベント
3/1(土)	着物で楽しむ雛まつり	展示
3/7(金) ～3/16(日)	たなかきょおこ原画展 「小田原近郊花ごよみ」	展示
3/20(木)	庭園設計者による見どころガイド	施設見学・ガイド
3/29(土)・ 3/30(日)	東雲会「さくら茶会」	飲食イベント

○受託者が作成したホームページ、SNS

<https://matsumoto-goukichi.com/>
https://www.instagram.com/matsumoto_goukichi/
<https://www.facebook.com/Matsumotogoukichi/>

○施工中の庭園



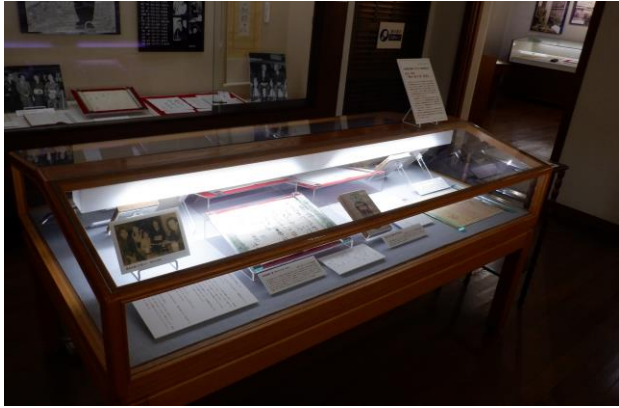
○施工後の庭園



- ・バリアフリールートの敷設
- ・水景の復元
- ・灯籠の据え直し

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
小田原文学館(本館・別館)整備活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金、市単独事業	
計画に記載している内容	小田原文学館に付随する庭園の修景整備等を行うことにより建造物と一体的に歴史的風致形成建造物としての魅力を高める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・庭園整備の方向性等については、旧観の復元、建物との調和、美観の向上、管理機能の強化と安全性の確保、バリアフリー化、回遊拠点・休息施設としての利便性の向上の観点から、具体の整備内容について検討を進めており、令和4年度には令和3年度に取りまとめた改修整備の基本方針を踏まえ、詳細調査を行うとともに基本計画を策定した。 ・策定した基本計画に基づき、令和5年度から令和6年度にかけて、実施設計業務を進めた。 ・活用事業については、小田原出身・ゆかりの文学者の事績等を紹介する常設展(適宜更新)のほか、本館開館30周年記念の特別展、館蔵の貴重資料をスポット的に展覧する「貴重資料特別公開」、建物・庭園及び庭園内文学碑の見学会などを実施した。		
【定量的評価】		
入館者数 目標値:10,000人 R3:4,509人 R4:5,312人 R5:5,649人 R6:5,864人 (達成率:58%)		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○本館常設展(令和6年12月の最新更新後) ○「貴重資料特別公開」(令和7年3月)		
 		
○庭園整備の検討対象箇所(一部)		
  		
荒廃した散策路 枯れた状態のままの苑池 建物の展望を阻害する植栽		

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物整備活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物の指定の方針に基づき、歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理及び復原に対する費用を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・歴史的風致を形成する活動の拠点となるものや歴史的風致を形成する市街地環境の維持向上に寄与するものなど、歴史的風致形成建造物の指定条件を満たす建造物を、歴史的風致形成建造物として指定しており、また、所有者から要望があった場合、建造物の修理及び復原に対する費用を助成している。 ・令和6年度の指定に係る事項については、「二の丸観光案内所」及び「三淵邸・甘柑荘」の2件を指定した。 ・歴史的風致形成建造物の指定表示板について、歴史的風致の維持向上に資する取組とするため、歴まち計画(第1期)で用いたデザイン(金属製)から、箱根寄木細工等の木工技術を用いた木製に変更し、令和6年度に指定した上記2件の建造物については令和6年8月に設置した。			
【定量的評価】			
歴史的風致形成建造物の指定件数(累計)	R3:15件	R4:15件	R5:16件 R6:18件
歴史的風致形成建造物(指定候補)の件数(累計)	R3:12件	R4:14件	R5:15件 R6:13件
歴史的風致形成建造物の助成件数	R3:0件	R4:1件	R5:1件 R6:0件
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致形成建造物の指定 2件

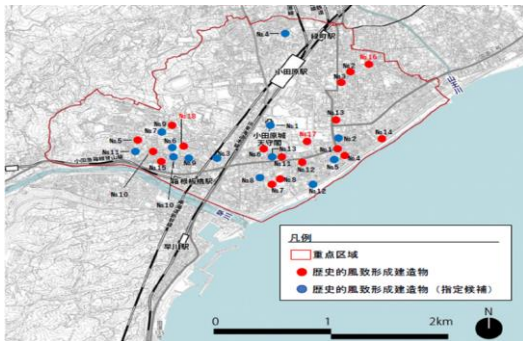


二の丸観光案内所

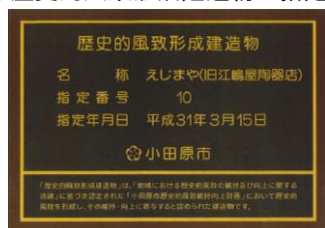


三淵邸・甘柑荘

○歴史的風致形成建造物の位置図



○歴史的風致形成建造物の指定表示板



歴まち計画(第1期)のデザイン



歴まち計画(第2期)のデザイン



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
史跡小田原城跡保存活用・整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	史跡等購入費補助金、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、指定文化財保存修理等補助金、市単独事業		
計画に記載している内容	史跡小田原城跡を確実に保存し、未来に伝えるための基本方針として令和3年策定の『史跡小田原城跡保存活用計画』に基づき、小田原城址公園を中心とする本丸・二の丸や八幡山古郭・総構等の保存・活用・整備を図る。 御用米曲輪の土塁の復元や蔵跡の平面表示、平場部分への遊歩道設置等の整備が終了した部分から順次一般公開を行う。史跡指定地内の地権者からの申し出の機会を捉え、史跡用地の買い取りを進め、順次活用と整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・史跡内の樹木を伐採・剪定するなどして、史跡の保護と適正な管理を行った。 ・「史跡小田原城跡御用米曲輪戦国期整備検討部会」の協議結果を基に、御用米曲輪の基礎調査・埋蔵文化財調査を実施した。 ・御用米曲輪の現況・調査経過に係る一般公開を11月23日(土)に実施し、165人の参加者があった。 ・史跡内の民有地を公有化するために必要な算定調査を実施した。			
【定量的評価】 公有化済史跡指定地面積(累計) 目標値:69,036㎡ R4:67,748㎡ R5:68,779㎡ R6:69,037㎡ (達成率100%) ※公有地には本市所有の土地以外も含む			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○現地写真



御用米曲輪の埋蔵文化財調査



[谷津地区]

[城内地区]



公有化した史跡の状況

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
指定文化財等建造物保存・公開事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	指定文化財保存修理等補助金、市単独事業	
計画に記載している内容	県及び市の指定文化財建造物の所有者に対し管理奨励金を支出するとともに、修繕が必要な場合に補助し、修繕の指導及び助言をすることで、保存と管理の支援を図る。 県及び市の指定文化財の建造物や国の登録有形文化財、小田原ゆかりの優れた建造物などの見学会や観覧会を NPO 法人等との連携を図りながら実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・指定文化財等の修繕については、岩瀬邸(小田原市ゆかりの建造物)の板塀修理、長興山の枝垂桜と三島神社のケヤキの樹勢回復等に対し補助を行った。 ・指定文化財等の公開については、以下のとおり実施した。 最新出土品展2024(令和6年11月2日～12月15日) 遺跡調査発表会(令和6年11月23日) 遺跡講演会(令和6年11月24日) 文化財建造物の観覧会(令和6年11月30日、12月1日) 遺跡見学会(令和7年3月15日)		
【定量的評価】		
指定文化財等の修繕に係る補助件数(累計)	目標値: 40件	R4: 6件 R5: 10件 R6: 15件(達成率37.5%)
文化財建造物等公開事業来場者数	目標値: 2,000人	R4: 2,367人 R5: 2,592人 R6: 1,988人(達成率99.4%)
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○指定文化財等の修繕		
    岩瀬邸 修繕前 修繕後		
○指定文化財等の公開		
[三淵邸・甘柑荘(板橋)]  文化財建造物の観覧会 [清閑亭(城山)]   遺跡見学会		

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度																									
項目		現在の状況																									
街かど博物館活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																									
事業期間	令和3年度～令和12年度																										
支援事業名	市単独事業																										
計画に記載している内容	地域に根差した店舗等を街かど博物館として認定して一般公開するとともに、街の歴史や魅力を知ってもらうことを目的とした体験教室やまち歩きツアーなどの事業を実施する街かど博物館館長連絡協議会の活動を支援する。																										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																											
・街かど博物館体験ツアーについて、令和6年度は5回開催した。 ・街かど博物館ファンクラブ会員へツアー開催及びイベント情報を知らせる「まちはく通信」を発行しており、令和6年度は、まちはく体験ツアーの周知のため、2回の発行を行った。 ・令和5年12月7日に朝翠(あさみどり)養蜂販売株式会社が18館目の街かど博物館として認定され、全18館で事業継続中。 【定量的評価】 <table border="0"> <tr> <td>街かど博物館認定数(累計)</td> <td>R3:17館</td> <td>R4:17館</td> <td>R5:18館</td> <td>R6:18館</td> </tr> <tr> <td>街かど博物館体験ツアー開催回数</td> <td>R3:2回</td> <td>R4:5回</td> <td>R5:5回(うち2回中止)</td> <td>R6:5回</td> </tr> <tr> <td>街かど博物館体験ツアー延べ参加者数</td> <td>R3:22人</td> <td>R4:40人</td> <td>R5:38人</td> <td>R6:31人</td> </tr> <tr> <td>街かど博物館館長連絡協議会開催回数</td> <td>R3:3回</td> <td>R4:3回</td> <td>R5:2回</td> <td>R6:3回</td> </tr> <tr> <td>街かど博物館ファンクラブ会員数</td> <td>R3:648人</td> <td>R4:665人</td> <td>R5:683人</td> <td>R6:723人</td> </tr> </table>			街かど博物館認定数(累計)	R3:17館	R4:17館	R5:18館	R6:18館	街かど博物館体験ツアー開催回数	R3:2回	R4:5回	R5:5回(うち2回中止)	R6:5回	街かど博物館体験ツアー延べ参加者数	R3:22人	R4:40人	R5:38人	R6:31人	街かど博物館館長連絡協議会開催回数	R3:3回	R4:3回	R5:2回	R6:3回	街かど博物館ファンクラブ会員数	R3:648人	R4:665人	R5:683人	R6:723人
街かど博物館認定数(累計)	R3:17館	R4:17館	R5:18館	R6:18館																							
街かど博物館体験ツアー開催回数	R3:2回	R4:5回	R5:5回(うち2回中止)	R6:5回																							
街かど博物館体験ツアー延べ参加者数	R3:22人	R4:40人	R5:38人	R6:31人																							
街かど博物館館長連絡協議会開催回数	R3:3回	R4:3回	R5:2回	R6:3回																							
街かど博物館ファンクラブ会員数	R3:648人	R4:665人	R5:683人	R6:723人																							
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																										
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																											
状況を示す写真や資料等																											
○街かど博物館館長連絡協議会 第1回(通算第69回): 令和6年6月4日(火) 18:30～20:00 ・令和5年度 収支決算、事業報告について ・令和6年度 収支予算、事業計画について ・街かど博物館体験ツアー(秋)について ・スタンプラリーの景品について(意見交換) 第2回(通算第70回): 令和6年8月6日(火) 18:30～20:00 ・街かど博物館体験ツアー(秋)について ・スタンプラリー景品の商品券方式について(意見交換) 第3回(通算第71回): 令和7年1月20日(月) 18:30～20:00 ・街かど博物館体験ツアー(春)について ○街かど博物館体験ツアー 秋(10月・11月・12月)、春(2月・3月)にツアー実施 ・令和6年10月19日(土) 早川の海と山のなりわいを知るツアー(参加人数:5名) ・令和6年11月16日(土) 海の恵みを満喫! 体験まちはくツアー(参加人数:5名) ・令和6年12月14日(土) 小田原の伝統と今を体験! まちはくツアー(参加人数:7名) ・令和7年2月22日(土) おだわら雛の道中と華やぐ街博めぐり(参加人数:8名) ・令和7年3月29日(土) 春満喫! 桜のお城とお団子の街博ツアー(参加人数:6名)																											

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度																				
項目		現在の状況																				
小田原宿なりわい交流館整備活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																				
事業期間	令和3年度～令和12年度																					
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業																					
計画に記載している内容	昭和7年(1932)に建設された旧網問屋を、誰でも立ち寄れる休憩所として、また小田原の地場産業に関する情報発信の場として整備し、市民や観光客へ無料で提供している。官民連携により誘客及び回遊拠点としての機能と魅力を高めるため、耐震補強を含めた再整備を行う。																					
・管理運営業務については、令和3年度に引き続き合同会社小田原かまぼこ発信隊が受託し、地域と一体となった管理運営を行っている。 ・令和4年度は計画どおり、耐震診断業務を執行した。 ・令和5年度4月からは、耐震診断に基づき耐震補強等改修実施設計業務を執行した。 ・令和6年度は、耐震補強等改修実施設計業務に基づき耐震改修工事を実施(～令和7年5月31日まで)。 【定量的評価】 <table border="1"> <tr> <td>入館者数</td> <td>R3:38,102人</td> <td>R4:40,120人</td> <td>R5:43,321人</td> <td>R6:20,314人</td> </tr> <tr> <td>自主事業の開催数</td> <td>R3:4回</td> <td>R4:8回</td> <td>R5:9回</td> <td>R6:3回</td> </tr> <tr> <td>イベント会場(2階)の利用回数</td> <td>R3:30回</td> <td>R4:62回</td> <td>R5:83回</td> <td>R6:27回</td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td>R3:364日</td> <td>R4:364日</td> <td>R5:365日</td> <td>R6:140日</td> </tr> </table> ※令和6年度は耐震改修工事のため、入館者数が減少。			入館者数	R3:38,102人	R4:40,120人	R5:43,321人	R6:20,314人	自主事業の開催数	R3:4回	R4:8回	R5:9回	R6:3回	イベント会場(2階)の利用回数	R3:30回	R4:62回	R5:83回	R6:27回	開館日数	R3:364日	R4:364日	R5:365日	R6:140日
入館者数	R3:38,102人	R4:40,120人	R5:43,321人	R6:20,314人																		
自主事業の開催数	R3:4回	R4:8回	R5:9回	R6:3回																		
イベント会場(2階)の利用回数	R3:30回	R4:62回	R5:83回	R6:27回																		
開館日数	R3:364日	R4:364日	R5:365日	R6:140日																		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																						
状況を示す写真や資料等																						
○各種団体との連携事業 (1)障がい者団体との連携事業 ・なりわい交流館周辺地域の方に新鮮な野菜を提供するため、なりわい野菜市を毎月1回開催 ・野菜市については、地元の障がい者団体が販売を実施 ・野菜市 令和6年度開催日:5月28日、6月15日、7月20日 ※耐震改修工事のため、館内事業は7月まで実施																						
		 野菜市当日の様子																				
(2)観光との連携事業 ・なりわい交流館にて来訪客に小田原ちようちんの製作体験の実施 ・ちようちん製作ボランティアの会が製作体験を実施 ・製作体験 令和6年度 開催回数8回 体験人数:78人 ※耐震改修工事のため、館内事業は7月まで実施																						
																						
(3)耐震改修工事 ・令和6年8月19日(月)より耐震改修工事に伴う臨時閉館 ・令和6年8月27日(火)付耐震改修工事契約締結																						

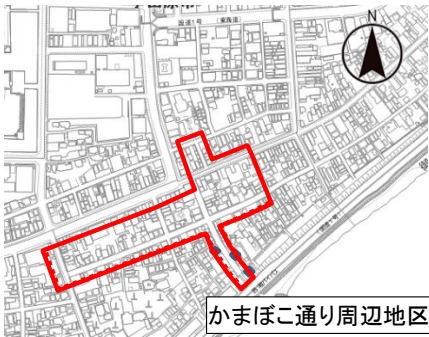
評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)、市単独事業	
計画に記載している内容	景観計画における4つの拠点型重点区域(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区、かまぼこ通り周辺地区)において、景観形成の方針に基づく景観修景に対する助成等を行うことで、潤いやすらぎのある景観や歴史的資源を活用した落ち着いた風格がある景観の形成を促進させる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・拠点型重点区域の景観形成の方針に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対し、「景観形成修景費補助金」により経費の一部を助成することで、景観の形成を図っている。 ・令和6年度は2件実施。そのほか2件について次年度の補助活用に向け調整を進めている。 【定量的評価】 景観形成修景費補助件数 R3:1件 R4:2件 R5:0件 R6:2件 (累計5件(達成率25%)) ※目標値:20件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○景観形成修景費補助事業 ①F様店舗外観修景工事(小田原城周辺地区) ・赤く明るい屋根を重厚感のある低彩度に変更し、縦格子や犬矢来、植栽を設置  ➡  ②Y様邸外観修景工事(かまぼこ通り周辺地区) ・一部開口部や室外機への縦格子設置やブロック塀を撤去し、木塀を設置  ➡ 		

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
重点区域における街なみ環境の向上			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	都市構造再編集中支援事業、市単独事業		
計画に記載している内容	かまぼこ通り周辺地区、銀座・竹の花周辺地区、板橋・南町周辺地区においては、歴史まちづくりの機運が高まってきていることから、地区住民等とともに『小田原市景観計画』や『歴史的建造物活用エリアコーディネートプラン』を踏まえ、ハード及びソフト事業を展開していき、地区の街なみ環境の向上に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○良好な景観形成に向けた取組 ・かまぼこ通り周辺地区については、小田原宿やなりわいの文化・風情を受け継ぐ歴史的建造物を生かした街なみ景観の形成を図るため、令和5年7月に景観計画重点区域に位置付けた。 ・令和6年度は、かまぼこ通り周辺地区内の住宅で景観形成修景費補助金を活用し、外観の修景を進めた。各開口部や室外機への縦格子設置のほか、ブロック塀を撤去して新たに木塀を設けることにより、連続性のある街なみ景観を形成することができた。 ○道路事業 ・かまぼこ通り及び板橋・南町周辺地区(旧東海道)において、街なみ環境の向上に資する道路改良(景観に配慮した舗装整備等)を進めている。令和6年度は次のとおり。 ・市道2035道路改良工事(景観舗装:L=85m) 令和6年9月～令和6年12月 【定量的評価】 道路改良工事(側溝改修) R3:L=220m R4:L=180m 道路改良工事(景観舗装) R3:L=60m R4:L=140m R5:L=300m R6:L=85m			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○景観計画重点区域に位置付けたエリア			
 かまぼこ通り周辺地区			
○市道2035道路改良工事(景観舗装:L=85m)			
 整備前		 整備後	

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
文化財の総合的把握・保存活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	指定文化財には至らないものの、地域にとって宝ともいえる文化財について、官民で協力しながら総合的に把握する仕組みを構築するとともに、必要な資料調査を実施する。また、これを踏まえつつ、『小田原市文化財保存活用地域計画』の策定に取り組む。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・小田原市郷土文化館では、平成29年7月に石造物調査会、令和元年6月に古写真整理の会が市民ボランティアにより発足し、文化財に対する理解を深める機会となっている。現在、石造物調査会13名、古写真整理の会20名がボランティアとして参加している。 ・令和6年度の取組として、石造物調査会は市内久野の悉皆調査を行った。古写真整理の会では郷土文化館が収蔵している昭和期の小田原市街地写真約100点を整理した。 ・小田原市文化財保存活用地域計画の策定に向け、計画づくりのワーキング組織である懇話会を年3回開催した他、上府中地域でのワークショップの開催、地域事業への協力を実施した。		
【定量的評価】		
文化財の把握に係る調査件数(累計) 目標値:10回 R4:2回 R5:4回 R6:6回(達成率60%)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○小田原市文化財保存地域計画の策定に向けた取組		
 上府中地区ワークショップ の振り返り  上府中地区まちづくり委員会主催「地域の遺跡巡り」  令和6年度第1回小田原市文化財保存活用地域計画 策定に係る懇話会 (令和6年7月19日)		
○市民ボランティアによる文化財の総合的把握		
 古写真整理の会による調査の様子 (撮影場所を特定し、地図に記録する 令和6年7月9日)  石造物の会による調査の様子 (久野地区の石造物悉皆調査の様子 令和6年6月15日)		

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
伝統行事・民俗芸能等保存継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市を特徴づける神社の祭礼等伝統的な行事の認知度を高める情報発信に努めるほか、必要に応じて学識経験者等の指導や助言を得ながら、神輿や山車の現況調査を進め、祭礼を支える用具類の維持を支援していく手立てを検討する。市内各地で継承されている小田原囃子の無形の民俗文化財としての価値を明らかにし、市の文化財指定に向けての研究を進める。民俗芸能の保存活動団体に対し、活動の周知や後継者育成のための発表会など普及啓発や保存の取組を支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・小田原民俗芸能保存協会主催「後継者育成発表会」を開催し578人が観覧した。 令和6年11月3日(日・祝) 三の丸ホール(大ホール) ・第22区自治会が所有する山車の現況確認を行い、地域文化財総合活用推進事業(文化芸術振興費補助金)の実施計画を策定し文化庁に補助要望を提出した。 ・関係4市と協議を重ね、令和7年度から相模人形芝居の総合調査を実施することが決定した。		
【定量的評価】 後継者育成発表会の参加者数及び観覧者数 目標値:400人 R4:454人 R5:806人 R6:578人(達成率145%)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 令和6年度小田原民俗芸能保存協会総会の模様  相模人形芝居連合会 会館  小田原民俗芸能保存協会「後継者育成発表会」(令和6年11月3日)		

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
観光イベント支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市最大の観光イベントである小田原北条五代祭りや小田原ちようちんまつりなどの観光イベントを主催する（一社）小田原市観光協会を支援し、安定したイベント開催の実現を図る。 観光イベントでは、コンテンツの一つとして神輿や小田原囃子などの伝統的な活動が披露される。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・小田原北条五代祭りは、北条五代などに扮した武者隊や鉄砲隊などが市内を勇壮に練り歩く、本市最大の観光イベントである。また、パレードでは神輿や小田原囃子も披露される。令和6年度は、5年ぶりに出陣式を行い、開会セレモニーやスペシャルゲストトーク、陣触（早馬～勝鬨～出陣太鼓等の演出）のほか、城址公園や街角では風魔忍者などのスペシャルパフォーマンスを行った。また、今回の祭りが60回目の記念開催であったことから、前年に引き続き3名の城主役ゲストに加え、舞踏家の四代目市川ぼたんさんと歌舞伎俳優の八代目市川新之助さんに出演いただき、祭り全体を盛り上げた。この結果、北条五代祭りの来場者数は、過去最多の30万人であった。 ・小田原ちようちんまつりは、歴史に名を残す「小田原ちようちん」をシンボルとしたイベントであり、小田原城本丸広場では市内の小学生が製作した手作りちようちん約1,600個を一堂に集め展示発表するほか、小田原囃子競演会や神輿パレードが実施された。			
【定量的評価】			
観光協会が開催したイベント数 R3:16回 R4:15回 R5:18回 R6:14回			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○第60回小田原北条五代祭り(令和6年5月3日開催)			
			
○小田原ちようちんまつり(令和6年10月14日開催)			
			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
回遊性向上推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容

歴史的建造物などへの案内板等の整備及び維持管理を行い、市民や来訪者の回遊性を高める。
併せて、歴史的建造物等の情報、史実等のストーリーや回遊ルート等を紹介する散策マップを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・案内板については、踏査により設置状況を把握したうえで整備を実施しているところである。
・回遊ルートや施設の情報等を紹介するウォーキングタウンおだわら散策マップの中央版を30,000部発行。なお、散策マップは東部版、中央版、西部版の3種類となっており、観光案内所や観光施設、郵送などで配布している。

【定量的評価】

案内板の整備(新設及び修繕)件数(累計) 目標値:10件 R3:1件 R4:2件 R5:5件 R6:7件 (達成率70%)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○案内板の整備(令和7年3月整備)



修繕前



修繕後



修繕前



修繕後

○おだわら散策マップ中央版(令和6年8月発行)



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
伝統的工芸品産業産地組合助成・地場産業PR支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的工芸品産業産地組合助成事業では、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う後継者・従事者研修事業及び需要開拓事業に対して助成を行う。 また、地場産業PR支援事業では、小田原・箱根地域の木製品産業における技術の向上及び販路開拓、情報発信を目的としたイベント『小田原・箱根「木・技・匠」の祭典』に対し補助している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・担い手の育成や伝統技術の継承を目的に、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業(従事者・後継者育成事業、販路開拓事業)に対し助成した。 ・小田原・箱根「木・技・匠」の祭典に関しては、令和6年11月16・17日のイベント開催に向け、令和6年4月25日を皮切りに、全8回の実行委員会を開催した。 【定量的評価】 展示会・見本市への出展者数 目標値:33社 R3:30社 R4:23社 R5:36社 R6:43社 小田原・箱根「木・技・匠」の祭典来場者数(隔年開催) 目標値:8,000人 R3:開催なし R4:6,500人 R5:開催なし R6:8,500人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○組合による従事者・後継者育成事業 ①寄木製品の試作研修 【日 程】令和6年8月1日、11日、23日、9月3日、10日 計5日間 【講 師】露木 清勝、石川 一郎 【参加者数】18名(延べ35名) ②手道具類の実技研修 【日 程】令和6年9月19日、27日、10月2日、9日、16日 計5日間 【講 師】露木 清勝、石川 一郎 【参加者数】17名(延べ33名) ○組合による販路開拓事業 ①歌舞伎座展示販売 【日 程】令和6年5月2日～31日 【場 所】歌舞伎座 【出展社数】6社 ②伝産法制定50周年記念フェア 【日 程】令和6年5月24日～6月6日 【場 所】青山スクエア 【出展社数】10社 ③小田原・箱根「木・技・匠」の祭典 【日 程】令和6年11月16日～17日 【場 所】三の丸ホール・観光交流センター 【出展社数】13社 ④ホテル椿山荘ロビー展示 【日 程】令和7年1月9日～2月28日 【場 所】椿山荘 【出展社数】3社 ⑤銀座名匠市 【日 程】令和7年2月19日～24日 【場 所】松屋銀座 【出展社数】9社 ⑥実演・体験教室 小田原駅東口図書館・南足柄図書館 2社 ⑦常設展示(通年) 伝統工芸青山スクエア、アンテナショップWAZA屋における常設展示販売 ○小田原・箱根「木・技・匠」の祭典 令和6年11月16・17日 小田原三の丸ホール及び小田原観光交流センターで開催 実行委員会の開催:全8回			



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度															
項目		現在の状況															
職人育成等推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手															
事業期間	令和3年度～令和12年度																
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業、市単独事業																
計画に記載している内容	NPO 団体や歴史的建造物の所有者等と連携し、歴史的建造物の保全やまち並み環境の形成を図るとともに、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を促進する。																
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																	
・歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人を育成するため、伝統工法に通じた職人の育成等を目的として設立された「NPO法人おだわら名工舎」への業務委託を行っている。令和6年度の業務内容は、次のとおり。 1 旧保健福祉事務所跡地 西海子通り沿い板塀設置等 2 旧保健福祉事務所跡地 過去に設置した板塀の更新 3 旧松本剛吉別邸 待合現状調査 4 歴史的建造物の価値評価、日常の維持管理、改修修繕等に関する相談に対する助言 ※上記旧保健福祉事務所跡地の板塀改修は令和元年から継続して実施している。 【定量的評価】 <table border="0"> <tr> <td>職人育成研修の実施件数(のべ参加者数)</td> <td>R3:3件(48名)</td> <td>R4:4件(81名)</td> <td>R5:3件(52名)</td> <td>R6:2件(50名)</td> </tr> <tr> <td>職人育成研修の相談受付件数</td> <td>R3:30件</td> <td>R4:44件</td> <td>R5:38件</td> <td>R6:28件</td> </tr> <tr> <td>研修に参加した高校生の進路状況 (建設業関連への就職割合)</td> <td>R3:9名/13名</td> <td>R4:6名/13名</td> <td>R5:0名/6名</td> <td>R6:8名/14名</td> </tr> </table>			職人育成研修の実施件数(のべ参加者数)	R3:3件(48名)	R4:4件(81名)	R5:3件(52名)	R6:2件(50名)	職人育成研修の相談受付件数	R3:30件	R4:44件	R5:38件	R6:28件	研修に参加した高校生の進路状況 (建設業関連への就職割合)	R3:9名/13名	R4:6名/13名	R5:0名/6名	R6:8名/14名
職人育成研修の実施件数(のべ参加者数)	R3:3件(48名)	R4:4件(81名)	R5:3件(52名)	R6:2件(50名)													
職人育成研修の相談受付件数	R3:30件	R4:44件	R5:38件	R6:28件													
研修に参加した高校生の進路状況 (建設業関連への就職割合)	R3:9名/13名	R4:6名/13名	R5:0名/6名	R6:8名/14名													
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																	
状況を示す写真や資料等																	
○旧保健福祉事務所跡地																	
 工事前	 工事中(研修中)の様子	 工事後															
 ① 調査風景	 ②	 ③ ①外壁劣化状況確認 ②内壁劣化状況確認 ③柱現状確認(過去に設置された柱を補強するための支柱が機能していないことが判明した)															

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

検討中

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
文化財の調査及び指定、防災			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	小田原市文化財保護委員会の指導と助言を踏まえ、必要な文化財調査を進めるほか、学術的な価値が高く、緊急性が高いものから市指定文化財の指定等を行っていく。また、市域全域を網羅できるような地域別の多様な文化財の資料調査に努める。 文化財のうち有形文化財等については、火災や自然災害等により毀損、滅失する恐れがあるため、被災リスクの軽減を図る。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で ・令和7年3月24日の文化財保護委員会で市指定文化財の新規指定について協議し、答申を受領した。 ・指定文化財所有者から管理状況の報告を受けた際、防災意識と日常点検の重要性を啓発した。 ・史跡管理嘱託員が定期的に史跡小田原城跡を見回り、除草・清掃など保存管理業務を実施した。 ・「小田原古式消防」について文化財調査を行い報告書を刊行した。 ・小田原市文化財保存活用地域計画の策定作業に伴い、未指定文化財の把握に努めた。 ・文化財防火デーに併せ、歴史的建造物での消防訓練と各所での防火指導を実施した。 【定量的評価】 市の指定文化財件数(累計) 目標値:119件 R4:116件 R5:116件 R6:116件(達成率97.5%) ※指定手続きが令和7年度初頭にずれただため		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○文化財の調査			
 「小田原古式消防」		 「本小札紫糸素懸威腹巻」 小田原城天守閣 所蔵  「絹本著色涅槃図」 総世寺 所蔵	
○文化財の防災			
 文化財防火デーに併せた消防訓練の様様 (令和7年1月21日)		 防火指導(消防設備等点検)の様様 (令和7年1月22日)	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
初代最高裁長官の別邸	令和6年4月1日	毎日新聞
朝ドラゆかり 三淵邸公開へ	令和6年4月13日	朝日新聞
籠清本店が再建100周年	令和6年4月14日	タウンニュース
朝ドラ聖地定期公開へ	令和6年4月14日	神奈川新聞
朝ドラモデル愛した邸宅	令和6年4月20日	神静民報
百姓曲輪と総構二重外張	令和6年6月26日	神静民報
歴史的建造物で講談楽しんで	令和6年8月11日	タウンニュース
ゆかりの聖地人気に	令和7年1月14日	神奈川新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和6年5月に歴史的風致形成建造物の指定を行った三淵邸・甘柑荘が、NHK連続テレビ小説「虎に翼」の主人公のモデルにゆかりがある施設のため、多数報道されている。

・上記のとおり、行政や民間からの積極的なプレスリリース等による各種メディアの報道により、本市の歴史的風致に対する市民等の関心が高まり、認知度の向上に寄与している。

【定量的評価】

市が各種メディアに取り上げられた件数 R3:188件 R4:133件 R5:143件 R6:168件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



令和6年4月1日付 毎日新聞

令和6年4月14日付
タウンニュース

令和6年4月13日付 朝日新聞



令和6年8月11日付 タウンニュース



令和7年1月14日付 神奈川新聞

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和6年度

項目

小田原城址公園の魅力向上

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・小田原城や周辺施設を活用した誘客のため、天守閣特別展として9月7日から11月4日にかけて「お城に動物園があった—小田原動物園の26,738日—」を令和6年11月30日から令和7年2月24日にかけて「小田原城とその城下を掘る!」を開催した。

【定量的評価】

小田原城天守閣入場者数 R3:374,506人 R4:524,201人 R5:589,485人 R6:605,373人

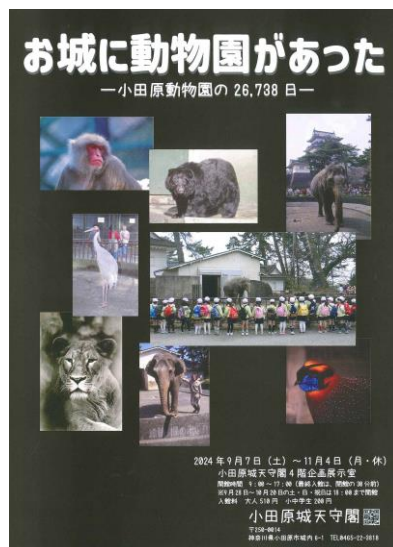
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



お城に動物園があった
—小田原動物園の26,738日—
(令和6年9月7日
～令和6年11月4日)



特別講演会
「小田原城を掘る」
城郭史研究と考古学
(令和6年12月1日)

評価対象年度		令和6年度
項目		
歴史まちづくりカードの配布		
計画に記載している内容	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付 ・歴史まちづくりの魅力やPRするため、平成30年度から「歴史まちづくりカード(通称:歴まちカード)」を配布している。 ・本市の歴史的風致に係る象徴的な写真や情報を掲載しており、本市の歴史まちづくりの認知度向上に寄与している。 ・令和5年4月から市内の歴史的建造物である「松永記念館」の写真を用いたデザイン(第2版)に一新した。令和6年3月下旬からは、市内の歴史的建造物である「清閑亭」の写真を用いたデザイン(第3版)に一新するとともに、より有効的な情報発信のため、配布場所を追加して開始した。 【定量的評価】 歴まちカード配布枚数 R3:3,696枚 R4:133枚 R5:4,840枚 R6:4,949枚 歴まちカード配布場所 R4:5か所(小田原城天守閣、松永記念館、小田原宿なりわい交流館、小田原文学館、UMECO) R5:5か所(小田原城天守閣、松永記念館、小田原宿なりわい交流館、旧松本剛吉別邸、観光交流センター) R6:6か所(小田原城天守閣、松永記念館、小田原宿なりわい交流館、旧松本剛吉別邸、観光交流センター、清閑亭(令和6年3月下旬より))	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
 宿場町・城下町の繁栄と御園文化 小田原市 歴まちカード第1版 【平成30年度～令和4年度】   近代に花ひらいた別邸文化 小田原市 歴まちカード第2版 【令和5年度】   近代に花ひらいた別邸文化 小田原市 歴まちカード第3版 【令和6年3月下旬から】		
 全国版歴まちカード配布場所一覧 パンフレット(国土交通省作成)		

歴史まちづくり出前講座の実施

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・市民等を対象とした出前講座を実施し、本市の歴史まちづくりについて認知度向上を図っている。

【相洋中学校1年生向け出前講座及びまち歩き研修】

・令和6年9月19日に相洋中学校の1年生を対象に本市の歴史まちづくりについて授業を行い、本市の歴史的資源や取組に興味をもっていただいた。

【本市新採用職員向け出前講座及びまち歩き研修】

・令和6年10月4日に本市新採用職員33名を対象に、市職員として、知っておくべき歴史的資源やその背景等についての理解を深めるとともに、観光資源の利活用について学ぶことにより、基本的な知識の習得と創造的思考力の醸成を図るため、歴史まちづくり出前講座及びまち歩き研修を実施した。出前講座では歴史的風致維持向上計画を中心とした本市の歴史的資源等についての講義を行い、まち歩き研修では、板橋・南町周辺を散策し、新採用職員が魅力を感じたスポット等の写真を本市の公式SNSに投稿した。

【令和6年度関東甲信越都市計画担当者会議】

・神奈川県県土整備局都市部都市計画課の主催で、令和6年11月11日に関東甲信越の県・政令市の都市計画担当者を対象とした会議が小田原市にて開催され、この中で、本市職員により、小田原市の歴史まちづくりの取組を紹介したほか、小田原駅、小田原城、かまぼこ通り周辺を現地視察し、本市の歴史的資源や取組への理解を深めていただいた。

【定量的評価】

出前講座参加者数 R3:93名 R4:38名 R5:42名 R6:57名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

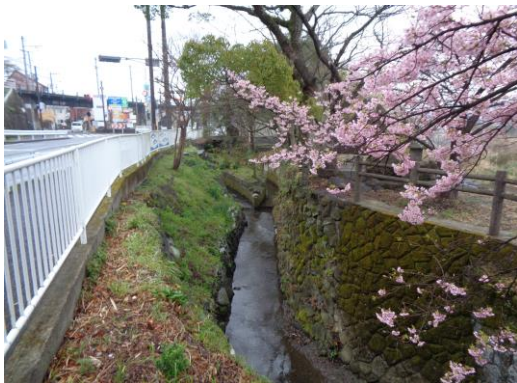
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



出前講座資料(抜粋)

令和6年10月4日開催
本市新採用職員向け出前講座の様子

評価対象年度		令和6年度
項目		
歴史まちづくりに係る民間の取組		
計画に記載している内容		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
【小田原早川上水をつなぐ会の活動】 ・板橋地区において、小田原早川上水(小田原用水)の保全及び、上水と地区の歴史・文化を広く伝えるため、令和4年度に地元の有志が団体を立ち上げ、その活動の一環として、板橋地区にある早川からの取水口付近の環境整備(除草や雑木の伐採)を行っている。これにより、取水口付近の景観が向上し、市民や来訪者が上水の流路や説明板などを観覧できるようになった。 ・環境整備活動とともに、上水に関する勉強会や上水沿いの現地調査を行い、上水の成り立ちや歴史を研究している。 ・今後は、子供を含めた地域の人々に上水を伝える活動を展開していく予定。 ・また、当該団体と事業の所管課が、保存・活用を進めている旧内野醤油店について、情報共有、意見交換を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
 整備前の状況  整備後の状況  整備前の状況  整備後の状況		

評価軸⑥-5
その他(効果等)

評価対象年度 令和6年度

項目

歴史的建造物の入館者数等

重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることにより、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着を深めるだけでなく、小田原固有の風情が多くの人々に伝播し、歴史的建造物や伝統文化の継承、交流人口の拡大・観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○歴史的建造物の施設入館者数 ※詳細は下記を参照。

○県内自治体間、認定都市間との連携
・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施
・歴史的景観都市協議会の加盟、総会等への参加
・関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議への参加 など

○歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の指定
・歴史的風致形成建造物(指定候補含む)を指定することで、市内に残る歴史的建造物の保存・活用、街なみの保全が推進されている。

【定量的評価】
歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の件数 第1期計画:23件 R3:27件 R4:29件 R5:31件 R6:31件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○施設入館者数の推移(単位:人)

○成果指標(第2期計画)

指標	参考		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	第1期計画 (後期5年) 平均値	H30 (新型コロナウイルス感染症 蔓延前)										
小田原城天守閣	582,022	603,318	374,506	524,201	589,485	605,373						
松永記念館	16,879	22,342	11,583	14,266	17,326	19,767						
清閑亭	24,471	25,712	19,277	休館中	休館中	6,989						
小田原文学館(本館・別館)	6,802	8,585	4,509	5,312	5,649	5,864						
旧内野醤油店	606	780	418	619	休館中	休館中						
旧松本剛吉別邸	7,054	6,070	2,022	7,337	10,321	3,808						
小田原宿なりわい交流館	35,689	43,756	38,102	40,120	43,321	20,314						
皆春荘	2,156	2,322	1,877	3,308	7,414	2,333						

※令和6年度は、旧松本剛吉別邸、小田原宿なりわい交流館、皆春荘は工事のため、入館者数が減少。

○県内自治体間、認定都市間との連携



湘南邸園文化祭パンフレット 第51回歴史的景観都市協議会総会(多賀城市)の様子

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会(書面会議)	
会議等の開催日時: 令和6年10月10日から11月22日まで	
(コメントの概要)	
(1)文化財の保護に努めること。無形の文化財と有形文化財の関係についても配慮すること。 (2)清閑亭活用事業および皆春荘整備活用事業については、文化財・歴史的建造物という点を十分考慮のうえ、事業を進めていただきたい。 (3)令和6年度に「三淵邸・甘柑荘」が歴史的風致形成建造物に指定されました。今年度は朝ドラ効果もあってかなりの賑わいを見せていたが、一過性に終わらず、今後も小田原市と連携して長く建物が維持できることを望みます。 (4)市内各所に残る歴史的建造物の資源を活かし、公共施設等の修景事業も進めながら、市民団体等とも連携を図り、まちづくりを推進してきたと考える。これからも着実に歴史まちづくりを進めて頂きたい。また、今後とも国土交通省の街なみ環境整備事業等の社会資本整備総合交付金を活用して、歴史まちづくりを進めて頂きたい。	
(今後の対応方針)	
(1)引き続き文化財の保護に努めてまいります。また、地域伝統行事・民俗芸能等の支援においては、有形文化財と無形文化財の関りを念頭に置いて取り組みます。 (2)今後も文化財としての価値を残しつつ、来場者が歴史的建造物の魅力に触れ、理解が深まるような保存・活用を進めてまいります。 (3)歴史的建造物エリアコーディネートプランを踏まえ、板橋地区の魅力や回遊性の向上のため、本市が所有する歴史的建造物との連携を進めてまいります。 (4)社会資本整備総合交付金等を効果的に活用し、引き続き更なる歴史まちづくりの成果を生み出せるよう、各事業を推進してまいります。	